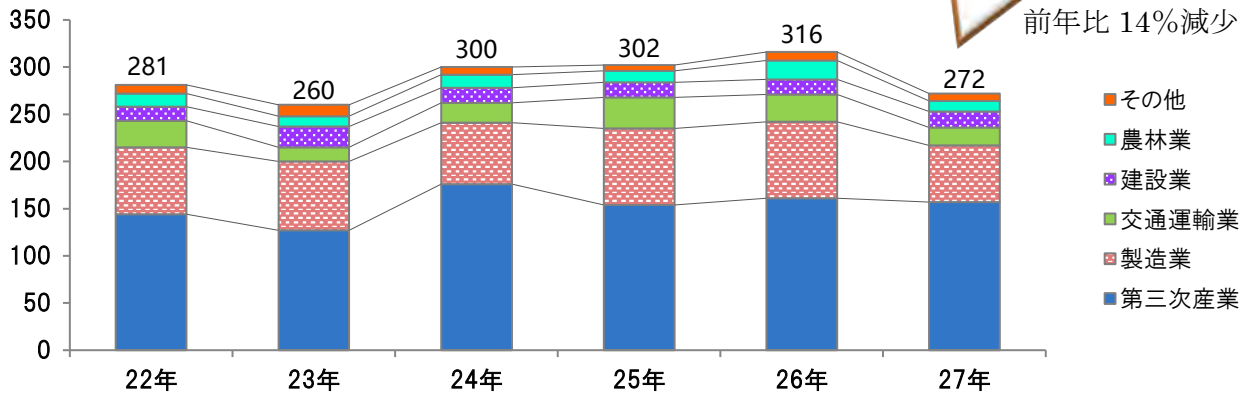
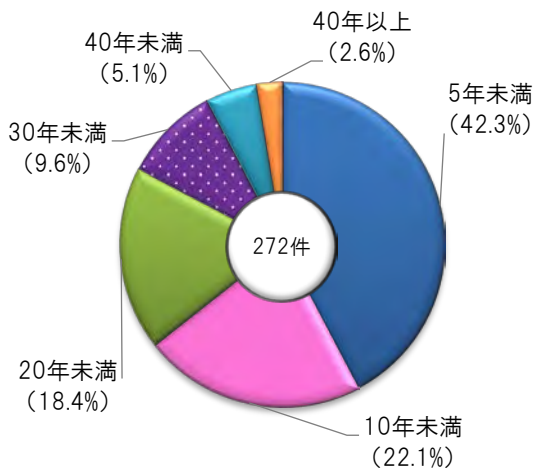


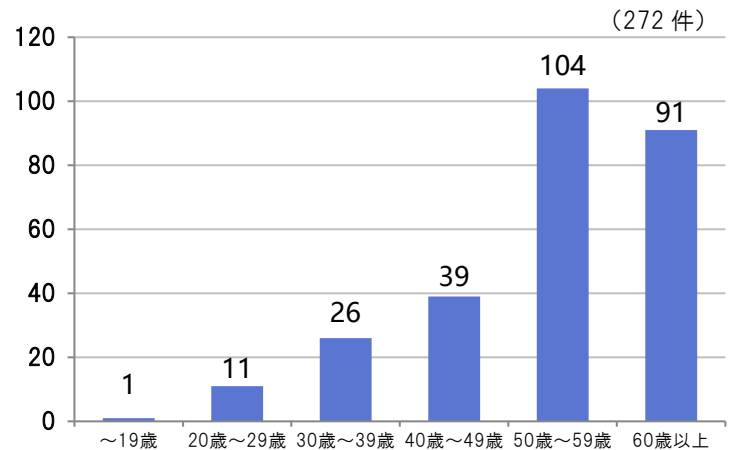
愛媛県の転倒災害の推移



経験年数別 (平成27年)



年齢別 (平成27年)



転倒災害が発生した原因として考えられるもの

身の回りの整理・整頓を行っていなかった。通路、階段、出口に物を放置していた。

床の水たまりや氷、油、粉類など、その都度取り除いていなかった。

安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていなかった。

転倒を予防するための教育を行っていなかった。

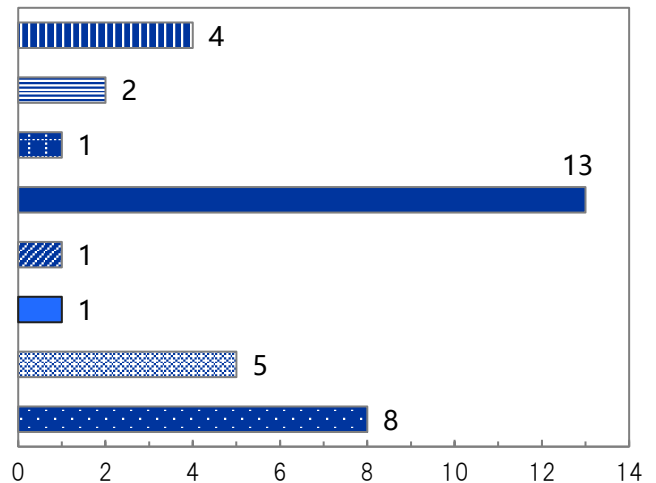
作業靴は、作業現場に合った対滑性を有し、かつサイズの合ったものを確保されていなかった。

ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していなかった。

段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていなかった。

ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていなかった。

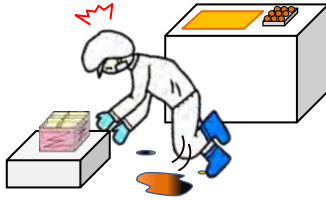
転倒災害自主点検結果(H28.4.1~6.30 <回答数40>)



転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。あなたの職場にも、似たような危険はありませんか？

滑り



[主な原因]

- 床が滑りやすい素材である
- 床に水や油が飛散している
- ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている

つまずき



[主な原因]

- 床の凹凸や段差
- 床に放置された荷物や商品など

踏み外し



[主な原因]

- 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業

転倒災害防止対策のポイント

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

設備管理面の対策

[4S(整理・整頓・清掃・清潔)]

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法

[あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない



その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起



冬期は転倒災害が多発

積雪・凍結などの転倒災害のリスクが高くなる冬期間は、以下の対策が特に重要です。

◇天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し、転倒しにくい靴の着用を指示するなど、早めの対策を実施しましょう。

◇駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などに注意する

駐車場内、駐車場から職場までの通路を確保するため、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ(照度)を確保しましょう。

◇職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
STOP! 転倒災害プロジェクト

STOP! 転倒 検索